



労福協たより

2026年3月

第35号
発行責任者
飯室 憲一

富士宮市へ行政要望書を提出しました

2025年12月10日（水）、富士宮市役所において富士宮市長との懇談会を開催し、市に対し**行政要望書を提出**しました。市からは須藤富士宮市長のほか担当部署の代表、労福協からは飯室会長、佐野副会長、浦本事務局長、市川事務局次長の4名が参加し、富士宮市の勤労者を代表して、皆様から寄せられた声を届けてきました。

6月より**労福協の各会員からの要望集約を開始、今年度も多くの要望事項を受付しました。三役会・幹事会にて要望事項の精査を行い、近年の要望事項との兼ね合いもしつつ、関心が高く、優先すべきと判断した以下の4項目の要望**に取りまとめました。

【富士宮地区労福協の要望事項】

1. 空き家を有効活用する市民及び移住者へのマッチングの強化
2. 富士宮市で働く教職員が安心して生徒に向き合える教育環境の確保
3. 子供たちが一人にならない居場所を増やすことによる子育て支援
4. 交通弱者、子育て世代への支援につながる「宮バス」運行



冒頭、飯室会長から須藤市長に要望書を提出。須藤市長に対し公務多忙の中にあっても、毎年熱心に勤労者の声に耳を傾けていただけることに感謝申し上げるとともに、労福協は地区の勤労者の声を行政に届ける役割を担っているため、真摯な検討と協議をお願いしました。

市長からは、要望事項より「空き家活用における市の取組み」そして「宮バス運行の現状と課題」についての見解が述べられました。「空き家の有効活用」への支援として、**空き店舗対策については補助金を活用して合計52店舗が開業している一方で、既存の空き家活用については所有者の特定や建物の修繕要否の判断が難しいなどの課題がある。**

移住者向けのポータルサイトによる情報発信を行っていることが報告されました。「宮バス」については市民から利便性向上、**運航路線拡大を求める声があることは重々承知しているものの、多額の運営資金の負担や乗務員の確保といった諸課題を踏まえると、要望実現は難しく、将来的には宮タク利用の推進も含めた対応が必要となる旨の回答がなされました。**

富士宮地区労福協は勤労者からの声を行政に届けるため、今後も活動を続けていきます。

(要望と回答内容の詳細は労福協ホームページをご覧ください)



「新年の集い」が今年も盛大に開催されました！

2026年1月23日（金）に「富士宮地区労福協新年の集い」を開催しました。72名の参加者が会場の富岳温泉ホテル「花の湯」へと参集いただきました。毎年恒例となりました「鏡開き」を行い、新年を盛大にお祝いしました。

冒頭、飯室会長からは、「社会貢献として里山再生や竹林整備などの地域社会への貢献活動」を実施できている一方、「労働者の生活向上に資する活動」も重要。多くの中小企業では、物価の上昇を上回る賃上げの実現は難しく、労働者の生活環境は厳しい状況が続いている。引き続き福祉事業団体の活用や連携により生活向上に資する活動を進めたい」旨の挨拶がありました。

また、来賓としてご臨席いただきました県労福協の中西理事長、富士宮市篠原副市長よりご挨拶をいただきました。



本年は、市川事務局次長の司会で進行し、飯室会長およびご来賓による鏡開きならびに乾杯、歓談後に例年同様「若者の会」によるイントロゲーム、そしてメインイベントの大抽選会を開催。労福協幹事会員や福祉事業団体、退福共から提供された豪華賞品を、平野幹事と笹原幹事を中心とした労福協幹事並びに各会員代表者の方々の協力による抽選を行い、参加者へ次々と賞品が手渡されました。

佐野副会長による閉会の挨拶にて参加者の気持ち合わせができました。新年のスタートにあたり、多くの会員の皆様と新年の顔合わせができ、ゲームや抽選会で楽しいひと時を過ごすことができました。



60周年記念行事の開催報告

2025年11月9日、「田貫湖ふれあい自然塾」を舞台に、富士宮地区労福協「60周年記念行事」を開催。

NPO法人ホールアース自然学校の協力のもと、地区労福協にふさわしく「富士宮の自然を舞台とした、ご家族どの世代も楽しめる体験型のクラフトコンテンツと食を楽しむ」イベントを企画。

当日の天候はあいにくの雨。それでも参加いただけたご家族は、「木のストラップ作り」や「森のパズルづくり」、お父さんと息子さんが協力して1つのノコギリを押し引きして「丸太切り体験」、やってみるとハマってしまう「木の皮めくり」などを体験することができ、子供たちは楽しそうでした。



希望者殺到！大人気「いちご狩りイベント」

2026年3月1日（日）、8日（日）の2日間、「いちご狩りイベント」を開催。今年度は2日間開催、当選169名に対して応募人数は783名となりました。

会場の「いちごやさん」は富士宮市外神のいちご農家、大振りのみずみずしい「富士宮いちご」が存分に楽しめます。練乳のカップを受け取り、ハウスに入ったらいちご狩りスタート。参加された皆さんは、次々にいちごを口に運んでいました。天候に恵まれ、温かい日差しにつつまれながら、春を感じられる楽しいイベントを満喫していただけたことと思います。

